

2026 年 7 月 17 日
教育課

国登録有形文化財（建造物）に係る答申について

このたび、国の文化審議会（会長：日比野 ^{ひびの} 克彦 ^{かつひこ}）は、2026 年 7 月 17 日（金）に開催された同審議会文化財分科会の審議・議決を経て、真鶴町内に所在する「旧土屋家住宅店舗兼主屋」、「旧土屋家住宅書院棟」、「旧土屋家住宅内蔵」の計 3 件を登録有形文化財（建造物）に登録するよう文部科学大臣に答申しました。

今回の答申のとおり告示されると、真鶴町初の国登録有形文化財となります。

（１）旧土屋家住宅店舗兼主屋

- 所在地：真鶴町岩字清水沢 596 他
- 建築年代：明治 25 年/大正 12 年頃改修
- 登録基準：国土の歴史的景観に寄与しているもの
- 特徴・評価

真鶴町の旧岩村中央部に位置する石材業者の店舗兼主屋。切妻造平屋建鉄板葺。東西面の中央に玄関、内玄関を設け中廊下で繋ぎ、北に店と台所、南に広間と茶の間を配す。間取りの改造は認められるが、ケヤキの大黒柱や差鴨居などを残し石材業者の繁栄を伝える。



（２）旧土屋家住宅書院棟

- 所在地：真鶴町岩字清水沢 596 他
- 建築年代：大正 12 年頃



- 登録基準：造形の規範となっているもの

- 特徴・評価

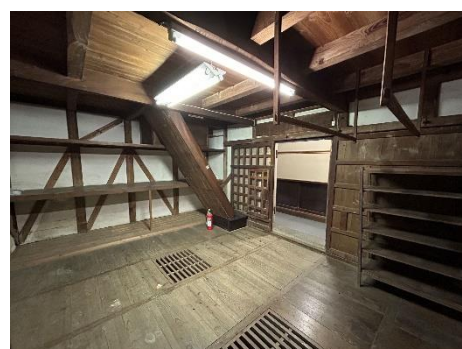
店舗兼主屋の西に接続する座敷棟。棧瓦葺主体部に鉄板葺の下屋を廻らし、南及び東面に磨丸太の長材を軒桁に用いて広縁を設ける。座敷は床の間、違棚、付書院を備え、北面は透かし彫板欄間を建て次の間が連なる。良材を用いた端正な意匠が造形の規範となる。



(3) 旧土屋家住宅内蔵

- 所在地：真鶴町岩字清水沢 596 他
- 建築年代：明治 25 年/大正 12 年頃改修
- 登録基準：国土の歴史的景観に寄与しているもの
- 特徴・評価

書院棟の西方に接続する、二階建土蔵。土蔵造、切妻造棧瓦葺。基礎は安山岩布積とし、外壁は腰部モルタル洗出仕上、上部漆喰仕上。二階に棹縁天井を張り、一階床と二階天井に換気口を設ける機能的なつくり。関東大震災後に筋違補強を施した石材業者の家財蔵。



お問い合わせ先

教育課長 清水 勇一 電話：0465-68-1131 内線 6700